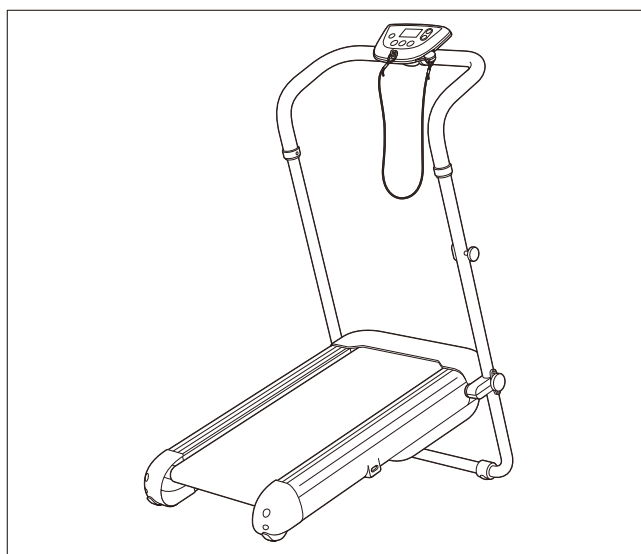


SLOPE WALKER

スロープウォーカー FD-086

取扱説明書



このたびはお買い上げいただき、ありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに保管してください。

もくじ

● 安全上のご注意	1～4
● 各部の名称	5・6
● 運動の前に	6・8
● 使用方法	9・10
● ご使用前の注意	10
● 使い終わったら	11
● お手入れについて	11
● 保管について	11
● 歩行ベルトの調整方法	12
● シリコンオイルの塗布について	13
● 故障かなと思ったら	14
● 愛情点検について	14
● 仕様	15
● アフターサービスについて	15・16
● メモ	17
● 無料修理規定	18
● 保証書	裏表紙

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

	警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
	注意	人が損害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容

絵表示の例

	⓪記号は、「禁止」の行為を示しています。(左図の場合は分解禁止)
	●記号は、行為を強制・指示するものです。(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)

- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

 強制	次の人は必ず医師や理学療法士に相談のうえ使用する。 ●心臓に障害のある人 ●ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器を使用している人 ●現在腰痛の人や、過去に首、腰、足を痛めたことのある人 ●脚、腰、首、手にしびれがある人 ●呼吸器に障害のある人 ●内臓疾患(胃炎、肝炎、腸炎)などの急性症状のある人 ●腰痛(椎間板ヘルニア、脊椎すべり症、脊椎分離症など)のある人 ●変形性関節炎、リウマチ、痛風の人 ●骨粗しょう症の人、脊椎の骨折、捻挫、肉離れなど、急性[疼痛性]疾患の人 ●背骨に異常がある人、曲がっている人 ●血行障害、血管障害など循環器に障害がある人 ●体温38℃以上の有熱期にある人(倦怠感、悪寒、血圧変動など急性炎症症状の強い時期や衰弱しているときなど) ●妊娠中や出産直後の人 ●安静を必要とする人 ●リハビリテーションで使用される人 ●皮膚に創傷のある人 ●糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人 ●その他医療機関で治療中の人、または身体に異常を感じている人 事故や体調不良をおこす原因になります。
	使用前や保管前に必ず固定ノブで本体が固定され、がたつきがないか確認する。 転倒による事故やけがの原因になります。
	運動や組み立て、収納作業をするときは、必ず周囲に子供やペットがいないことを確認する。 また、ホイールカバーと歩行ベルトの間に手や足を入れない。 事故やけがの原因になります。

 強制	交流100Vで使用する。 火災や感電の原因になります。 電源プラグにホコリが付着しないよう定期的に掃除する。 ホコリの付着・湿気などで絶縁不良になり漏電火災の原因になります。 次の人は使用しない。 医師から運動を禁じられている人(例:血栓(塞栓)症、重度の動脈りゅう(瘤)、各種皮膚炎および皮膚感染症[皮下組織の炎症を含む]など)。 症状を悪化させる原因になります。
 禁止	運動以外の目的には使用しない。 事故やけがの原因になります。 体重が100kg以上の人は使用しない。 故障や事故の原因になります。 自分で操作できない人に使わせない。 事故やけがの原因になります。 子供には使用させない。(乳幼児以外の子供で、保護者の監督下で使用する場合を除く。) 事故やけがの原因になります。 ベルトの回転に逆らったり、足をひきするような歩行をしない。 故障や事故の原因になります。 同時に2人以上で使用しない。 事故やけがの原因になります。 本品は歩行用です。走行用として使用しない。 故障やけがの原因になります。 後ろ向きで歩行しない。 転倒によるけがの原因になります。 動作中に乗り降りしない。 転倒によるけがの原因になります。 運動を行うときは、必ず安全キーを装着する。 事故やけがの原因になります。 安全に止まることができる速度の範囲で使用する。 安全キーがはずれ急停止した際の転倒によるけがの原因になります。 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 電源コードや電源プラグが破損した場合は、お買い上げ販売店または、お客様ご相談センターに修理の依頼をする。 そのまま使い続けると感電やショート、火災の原因になります。 電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、本体に巻きつけたりしない。 また、重いものをのせたり、熱器具に近づけて使用しない。 感電や火災の原因になります。

警告

 分解禁止	機器が故障した場合は、勝手に修理せず、お買い上げ販売店またはお客様ご相談センターに連絡する。 電源コードが破損した場合、危険なため電源コードの交換はお買い上げ販売店またはお客様ご相談センターに交換の依頼をする。 機器は改造しない。 火災や感電、けがの原因になります。
---	--

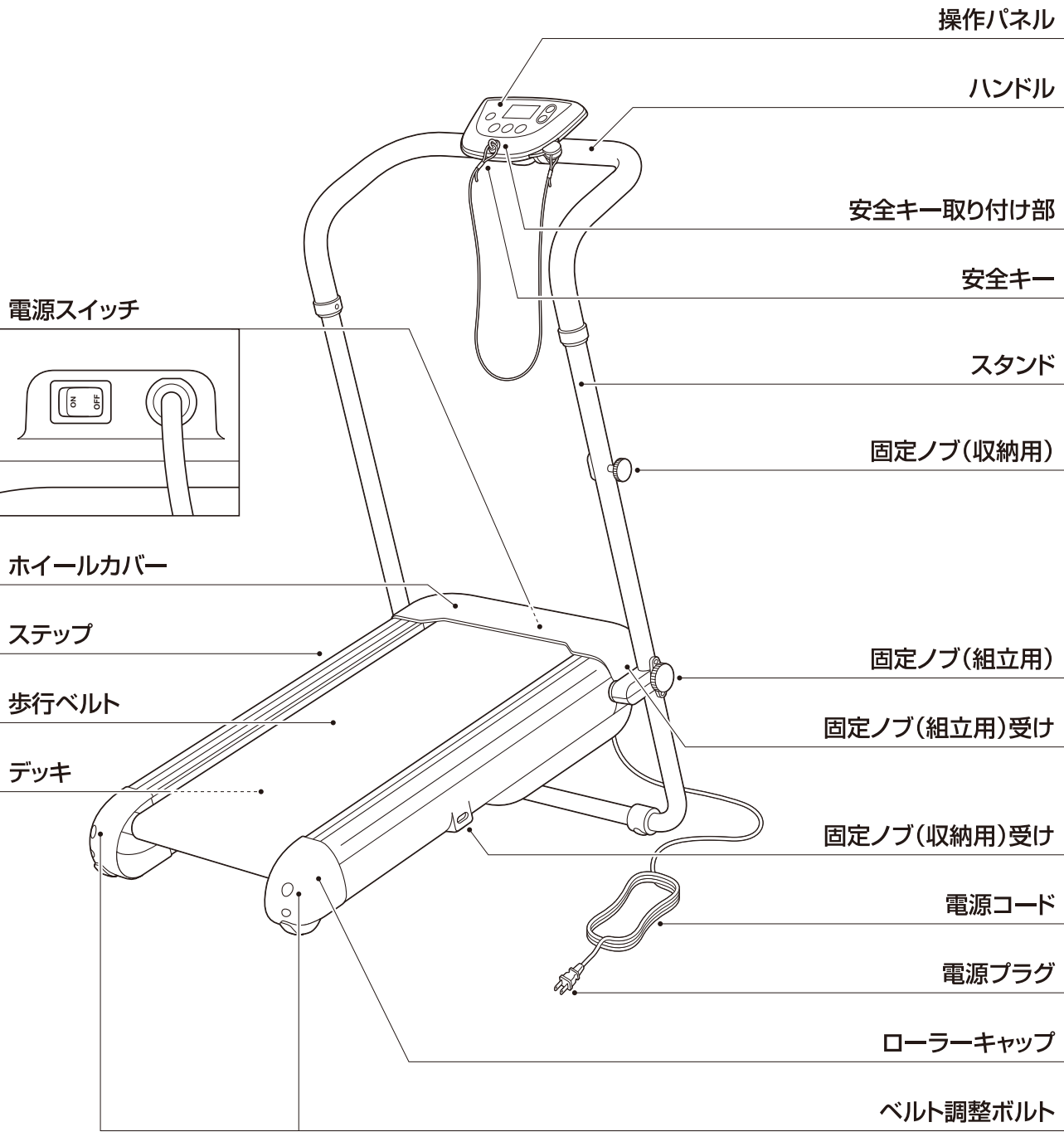
注意

 強制	1回の使用時間は30分以内にする。 体調不良をおこす原因になります。
	使用中、身体に異常を感じたときはただちに使用を中止し、医師に相談する。 事故や体調不良をおこす原因になります。
	運動に適した服装で使用する。 歩行ベルトへの巻き込みを防ぐため、身体のサイズにあった運動着を着用する。 事故やけがの原因になります。
	素足・靴下・ストッキングで使用しない。ゴム底の運動靴を履いて使用する。 転倒によるけがの原因になります。
	体力に自信のない人やはじめてお使いになる人は、遅い速度で使用する。 事故や体調不良をおこす原因になります。
	運動するための十分な広さがあり、水平な床の上に設置する。 転倒による事故やけがの原因になります。
	畳やフローリングなど傷つきやすい床の上で使用する場合は、マットなどを敷く。 床が傷つく原因になります。
	使用後はストップボタンで動作を停止させてから、電源スイッチを「OFF」にし、 電源プラグをコンセントから抜く。 子供のいたずらによる事故やけがの原因になります。
 禁止	電源プラグを抜くときは、接続部に無理な力をかけないよう、必ず電源プラグを持って引き抜く。 感電やショートの原因になります。
	次のようなときは使用しない。 ● 疲労が激しいとき ● 酒に酔っているとき けがや体調不良をおこす原因になります。
	次のような症状が出たときは運動を中止する。 めまい、ふらつき、冷や汗、顔面蒼白、失神、嘔吐、心拍の乱れ、動悸、胸の圧迫感、けいれん、 腱・靱帯の痛み、骨折、その他心身の異常など。

 禁止	本品は家庭用です。学校、スポーツジムなど、不特定多数の利用者によって使用しない。 故障やけがの原因になります。
	食前、食後の1時間は使用しない。 体調不良をおこす原因になります。
	人または物をのせたまま移動しない。 転倒による事故やけがの原因になります。
	使用中以外でも歩行ベルトに手足・指などを入れない。また子供を本品に近づけない。 事故やけがの原因になります。
	ストーブなど火気の近くで使用したり、たばこを吸いながら使用しない。 また、ホットカーペットなどの暖房器具の上で使用しない。 火災の原因になります。
	アクセサリなどの硬いものを付けて使用しない。 また、ピンやボールペンなどをポケットに入れたり、衣類に付けて使用しない。 事故やけがの原因になります。
	故障が見つかったら、すぐに使用を止め、電源プラグをコンセントから抜く。 事故やけがの原因になります。
	使用中に電源プラグを抜いたり、電源スイッチを「OFF」にしない。 けがの原因になります。
 水場使用禁止	お手入れの際はシンナー、ベンジン、アルコール、熱湯は使用しない。 変色・変形の原因になります。
	水などをこぼしたり、ぬれた身体で使用しない。 感電やショート、故障の原因になります。
 電源プラグを抜く	使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。 ホコリの付着・湿気などで絶縁不良になり、漏電火災の原因になります。
	お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く。 また、ぬれた手でプラグにふれない。 感電ややけどの原因になります。
	停電のときは、ただちに電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜く。 停電復帰時に事故やけがの原因になります。

各部の名称

本 体



付属品

- 安全キー
- 六角レンチ(歩行ベルト調整用)

●付属品は必ず本品に同梱されているものをお使いください。

操 作 部

自動コースボタン

自動でプログラムを選択するときに押します。

速度調節ボタン

運動中に速度の調節を行います。

電源ランプ

電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを入れると点灯します。

スタートボタン

運動を開始するときに押します。

リセットボタン

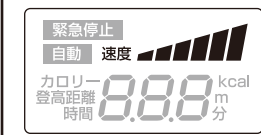
積算データをリセットするときに押します。

ストップボタン

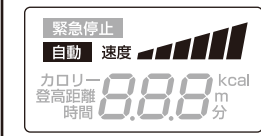
運動を停止するときに押します。

安全キー取り付け部

表 示 部



速 度
運動中の速さを表示します。



自 動
自動コース選択中に表示します。



時 間 分
運動の経過時間を表示します。



登高距離 m
登った高さを表示します。



カロリー kcal
運動中の消費カロリーを表示します。
※体重60kgの設定で計算しています。
※同じ運動をしても、人によって消費カロリーは違います。メーターの表示はあくまで一般的な目安としてください。

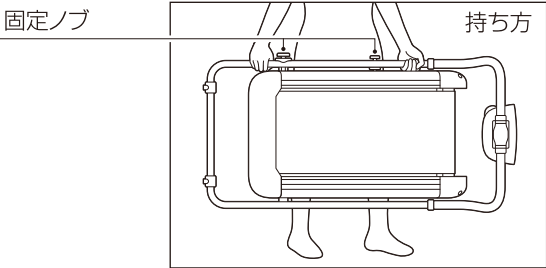


緊急停止
運動中に安全キーがはずれたり、安全キーがない状態でボタンを押すと表示します。

運動の前に

設置のしかた

固定ノブを上にしてスタンドを持って、設置場所へ移動してください。



設置場所について

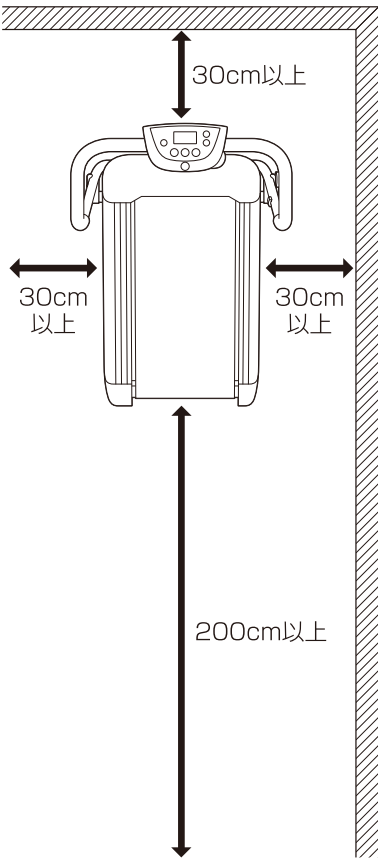
次のような場所への設置は避けてください。

- 設置場所の床強度が弱い場所。
- 屋外および直射日光が当たる場所。
- 高温多湿の場所。
- 傾斜がある場所。
- 設置後、周囲にスペースがなくなる場所。

また、本品の設置場所は使用者の安全を確保するために十分に広い場所を設け、本品の周囲、特に後部には使用者の転倒にそなえて厚手のマットなどを敷き、事故防止が配慮されている場所をお選びください。
また、畳やフローリングなど傷つきやすい床で使用する場合は、マットなどを敷きホットカーペットなどの暖房器具の上に設置しないでください。

設置スペースについて

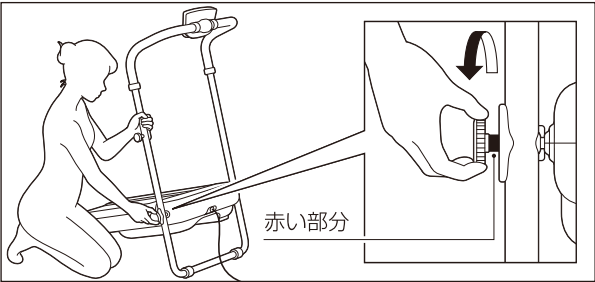
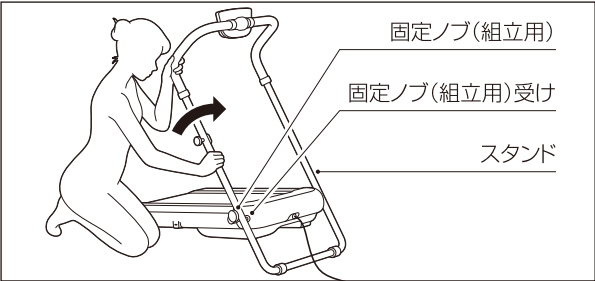
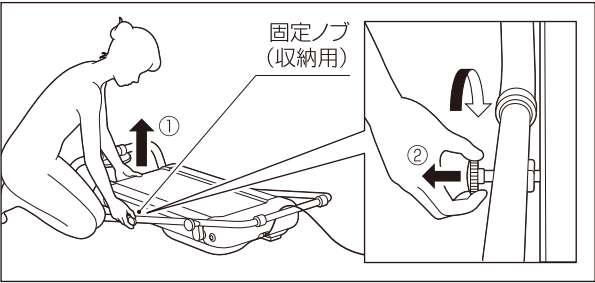
前方30cm以上、後方200cm以上、左右それぞれ30cm以上のスペースを確保できる場所に設置してください。



注意	設置をするときは、必ず歩行ベルトの下や周囲に人やペットがいないことを必ず確認してください。 また、設置が完了するまで電源を入れないでください。 事故やけがの原因になります。
-----------	--

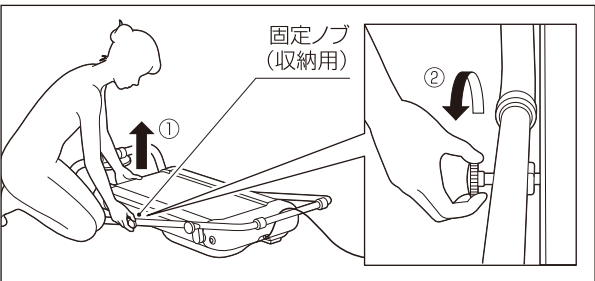
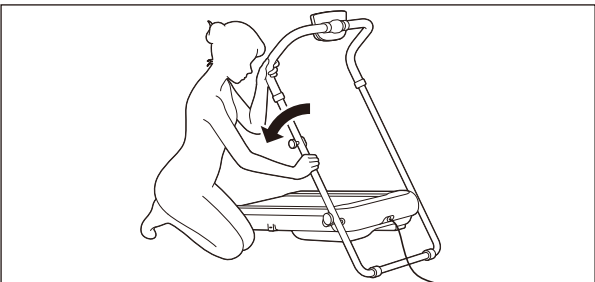
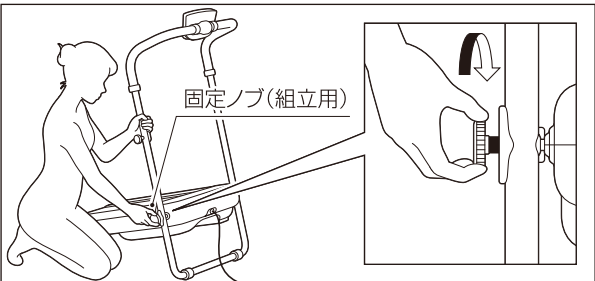
組み立て方

1. 本体を寝かせた状態で、歩行ベルトをこころもち上げながら(矢印①)固定ノブ(収納用)をゆるめるとバネによりはずれます。(矢印②)歩行ベルトを床にゆっくり降ろしてください。
2. 固定ノブ(組立用)が固定ノブ(組立用)受けにセットできる位置になるように、スタンドをを起こしてください。
3. 固定ノブ(組立用)の赤い部分すべてがスタンドに入るまで締め込んでください。



折りたたみ方

1. 固定ノブ(組立用)をゆるめ、本体からはずしてください。
2. スタンドをゆっくり倒してください。
3. 歩行ベルトを持ち上げながら(矢印①)、固定ノブ(収納用)の円筒部すべてがスタンドに入るまで締め込んでください。(矢印②)



注意	組み立ておよび収納作業をする際は、手や足を挟み込まないよう慎重におこなってください。 また、周囲に人やペットがいないことを確認してください。
-----------	---

使用方法

電源の入れ方

- 1.電源プラグを差し込む前に、電源スイッチが「OFF」になっていることを確認してください。
- 2.電源プラグをコンセントに差し込んでください。(電源コードが抜け落ちないよう確実に接続する)
- 3.電源スイッチを「ON」にしてください。操作パネルの電源ランプが点灯します。

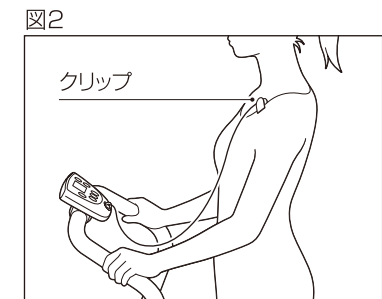
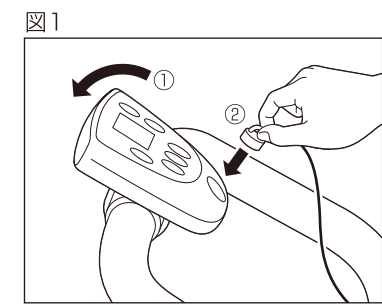
【スタンバイモード】

はじめて操作する場合は操作パネルの表示部が消灯したスタンバイモード(節電状態)です。操作パネルのいずれかのボタンを押すとスタンバイモードが解除され表示部が点灯します。

運動を開始する

- 1.操作パネルの角度を調節してください。(図1-①)
安全キーを操作パネル中央の安全キー取り付け部にセットし(図1-②)
クリップを胸元あたりに取り付けてください。(図2)

注意	本品はマグネット式の安全装置により、運動中の予期せぬ事故などが発生したとき、安全キーが外れることで速やかに速度を落として停止することができます。 運動を行うときは、必ず安全キーを装着してください。
----	---



2.【ノーマルモードで運動する場合】

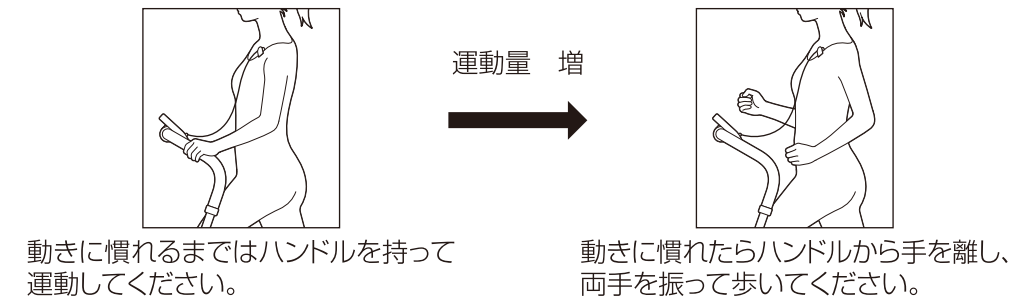
- スタートを押してください。歩行ベルトが速度2の速さで動きだします。
速度調節ボタン(速)(遅)で速さを調節してください。
- 速度は速度1～速度6の間で調節できます。
(速度1:約0.8km/h・速度2:約1.0km/h・速度3:約1.3km/h・
速度4:約1.5km/h・速度5:約1.9km/h・速度6:約2.2km/h)

3.【自動モードで運動する場合】

- スタートを押してください。
歩行ベルトが動きだしますので続けて(自動)を押してください。
ボタンを押すごとに5種類の自動コースが切り替わりそれぞれのランプが点灯します。
- ウォームアップ： 5分間短縮コース 速度0.8～2.2km/hでのウエーブ/ステップ運動
- ビルドアップ1：30分間フルコース 速度0.8～1.7km/hでのウエーブ運動
- ビルドアップ2：30分間フルコース 速度0.8～2.2km/hでのウエーブ運動
- インターバル1：30分間フルコース 速度0.8～1.7km/hでのステップ運動
- インターバル2：30分間フルコース 速度0.8～2.2km/hでのステップ運動
- ・ウエーブ運動とは ゆっくり速く、ゆっくり遅くを繰り返します。
- ・ステップ運動とは 遅い速度、速い速度を繰り返します。
- 自動モードで運動中、速度ボタンを押すとノーマルモードに切り替えることができます。

- 4.運動を中止したいときは(ストップ)を押してください。歩行ベルトが停止します。

運動を急いで中止したいときは「安全キー」を外すと緊急停止します。



- はじめて使うときは遅い速度を数分体感してから自分に合った無理のない運動量を設定してください。
速い速度での運動は十分慣れてから行うようにしてください。

注意	本品は歩行用です。早歩きで使用されるには問題ありませんが、走行されるとモーターに負担がかかり、故障の原因になります。
----	--

オートタイマーについて

使いすぎや切り忘れを防止するため、動作開始から約30分で自動的に止まります。
(自動コース「ウォームアップ」は5分で設定)

リセットについて

下記の場合に数値がリセットされます。

- リセットを押したとき。
- 電源スイッチを「OFF」にしたとき。
- 時間(999分)・登高距離(999m)・カロリー(999kcal)のいずれかの表示がオーバーフローしたとき。

ご使用前の注意

歩行ベルトの確認

運動の前に歩行ベルトがたるんでいないか確認してください。

確認方法	低速(速度1)の状態ではベルトに抵抗を加えて滑らないか確認してください。
------	--------------------------------------

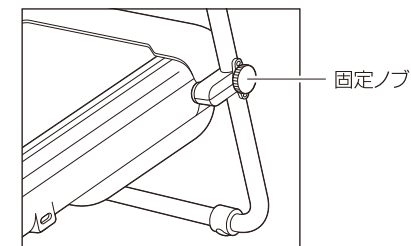
調整方法	ベルトの調整方法はP12の「歩行ベルトの調整方法」をご参照ください。
------	------------------------------------

停止時の確認

- ストップを押したときにどの程度で止まるかを確認してください。

固定ノブの確認

運動の前に本体とスタンドが固定され、がたつかないことを確認してください。



使い終わったら

- 1. **ストップ**を押して歩行ベルトを止めてください。
- 2. 電源スイッチを「OFF」にしてください。
- 3. 電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れについて

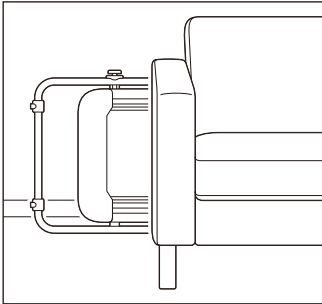
注意 お手入れの際には、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 乾いた布で汚れをふき取ってください。
 - 汚れがひどい場合は、ぬるま湯にうすめた中性洗剤を含ませた布をよくしぼってからふき、仕上げに乾いた布で水分をふき取ってください。
 - シンナー、ベンジン、熱湯は使用しないでください。
- 変色、変形の原因になります。

保管について

- 汚れやホコリをとったあと、湿気の少ないところに保管してください。
- しばらくご使用にならないときはカバーなどをかけ、ホコリがつかないようにしてください。
- お子様の手の届かない場所に置いてください。

- 本品を立てて保管する場合の注意
- 固定ノブを下にして保管しないでください。固定ノブが破損する原因になります。
- 本品を壁と家具、または家具と家具の間に入れ倒れないようにしてください。自立もしくは立てかけての保管は転倒による事故やけがの原因になります。
- 固定ノブ(収納用)の締め込みを確認してください。締め込みが弱いと本体からスタンドが外れて事故やけがの原因になります。

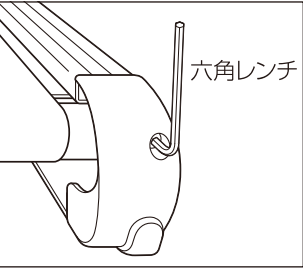


歩行ベルトの調整方法

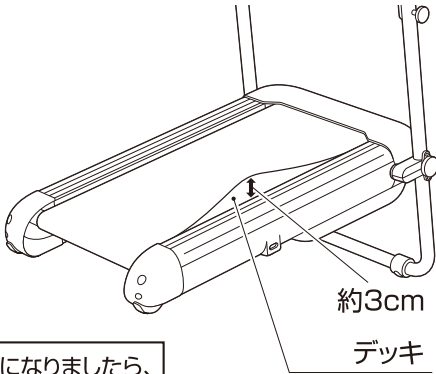
通常の動作音以外の音が発生した場合、ベルトの片寄りやベルトの縁が擦れている場合があります。そのときは付属の六角レンチでベルトの片寄りを調整してください。

ベルトが右に寄る場合	① 右側の調整ボルトを工具で時計回りに45°締めます。歩行ベルトを回すと、ベルトは左へ寄っていきます。	② 歩行ベルトを回しても、ベルトが中央へ寄らない場合は、さらに時計回りに45°締めてください。	③ 歩行ベルトが中央付近へ戻ってきたら、調整ボルトを反時計回りに少し緩めます。
ベルトが左に寄る場合	① 左側の調整ボルトを工具で時計回りに45°締めます。歩行ベルトを回すと、ベルトは右へ寄っていきます。	② 歩行ベルトを回しても、ベルトが中央へ寄らない場合は、さらに時計回りに45°締めてください。	③ 歩行ベルトが中央付近へ戻ってきたら、調整ボルトを反時計回りに少し緩めます。
ベルトがたるんでいる場合	① 左右の調整ボルトを工具で均等に時計回りに45°締めます。	② 調整後はベルト全体がデッキから少し浮き上がった状態で、ベルトの中程をつまみ上げ約3cm程度持ち上がるか確認してください。	③ それでも歩行ベルトがたるんでいる場合はさらに均等に時計回りに45°締め、ベルトの張りを確認してください。
ベルトが張り過ぎている場合	① 左右の調整ボルトを工具で均等に反時計回りに45°緩めます。	② 調整後はベルト全体がデッキから少し浮き上がった状態で、ベルトの中程をつまみ上げ約3cm程度持ち上がるか確認してください。	③ それでも歩行ベルトが張り過ぎている場合はさらに均等に反時計回りに45°緩め、ベルトの張りを確認してください。

- ベルトの調整後は空回しを行い、歩行ベルトが安定している状態を確認してください。
- ベルトが片寄る場合には、再度ベルトの調整を手順①から行ってください。



※適度なベルトの張り具合は、ベルト全体がデッキから少し浮き上がった状態で、ベルトの中程の端をつまみ上げ約3cm程度持ち上がる状態です。あまり張り過ぎると、ベルトの寿命を縮めたり、ベルト切れの原因にもなりますのでご注意ください。



注意 ベルトの回転をスムーズにするため、ベルトのスリップや急停止を感じるようになりましたら、シリコンオイルを塗布してください。(P13「シリコンオイルの塗布について」参照)

シリコンオイルの塗布について

歩行ベルトの回転が鈍くなってくると、モーターにかかる負担が大きくなり、故障の原因になります。
以下の手順でベルトの回転(滑り)の確認・メンテナンスを行ってください。

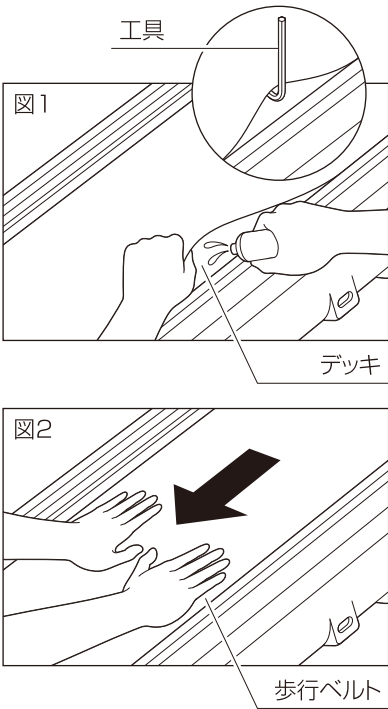
確認作業

- 以下の場合は、シリコンオイルを塗布する必要があります。
- 人が乗っていない状態と比べ、人が乗ると極端にベルトの回転速度が遅い。

シリコンオイルの塗布方法

歩行ベルト下のデッキ表面の摩擦を取り除くために、シリコンオイルを塗布してください。

- 1.歩行ベルトを少し持ち上げ、シリコンオイルをベルトの下
のデッキに塗布します。左右それぞれから行ってくだ
さい。(図1)
※歩行ベルトが持ち上げにくい場合は、工具などを使っ
てください。
- 2.人が乗っていない状態で歩行ベルトを低速で回転させ、
ベルト表面を手で押さえて、デッキ全体にシリコンオイル
を塗り拡げていきます。(図2)
- 3.再度、ベルトを回し、ベルトの回転(滑り)が改善されてい
ることを確認してください。



シリコンオイルの塗布についての注意点

- 出荷時にはシリコンオイルは塗布されています。
購入当初からシリコンオイルを塗布する必要はありません。
- シリコンオイルの塗り過ぎにご注意ください。
シリコンオイルを多量に塗布すると、ベルトの空回りなど、故障の原因になります。

シリコンオイルの塗布時期は、4～6ヶ月毎が目安となります。

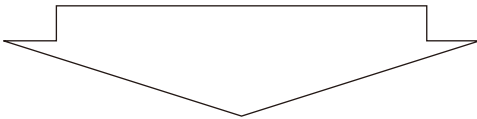
シリコンオイル(シリコンスプレー)は、お近くのホームセンターなどでご購入いただけます。

故障かなと思ったら

機器に故障が発見された場合は使用をただちに中止し、電源を切り、お買い上げ販売店またはお客様ご相談センターに点検、修理を依頼してください。

症 状	点検箇所と処置
●動作しない	●電源プラグが抜けていませんか ●電源スイッチが切れていませんか ●安全キーが正しくセットされていますか ●オートタイマーが働き停止状態になっていませんか
●動作中の機械音	●モーター音やベルトの継ぎ目がローラーを通過するときの摩擦音で、機能などに影響はありません ●歩行ベルトは片寄っていませんか

症 状	処 置
●連続使用後に動作が止まる	●モーターの温度上昇のため、安全装置が働いています しばらく休ませて(2時間程度)から再度動作を 確認してください



上記点検後なお異常音、動作しないなどの異常を感じたらただちに使用を中止してください。
電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店またはお客様ご相談センターに点検、修理を依頼してください。

安全装置について
歩行ベルトに無理な力がかかると安全装置が働き動作が止まる場合があります。そのときは一度電源を切り、少し置いてから再度電源スイッチを入れてください。

愛情点検について

しばらく使用しなかった機器を使用するときは、使用前に機器が正常に動作することを確認してください。

	このような症状はありませんか ● こげくさいにおいがする ● 電源コード、プラグが異常に熱い ● コードを動かすと通電したり、しなかったりする ● その他異常がある		故障や事故防止のため使用を中止し、 電源プラグをコンセントから抜いて、必 ずお買い上げ販売店またはお客様相 談センターに点検、修理をご相談くだ さい。
--	--	--	---

仕 様

販売名	スロープウォーカー FD-086
定格	AC100V 50/60Hz 130W
定格時間	30分
オートタイマー	約30分
適応体重	100kg
スピード	約0.8～約2.2km/h
歩行面角度	約19°
外形寸法	組立時 幅 約62cm×奥行き 約86.5cm×高さ 約121cm 収納時 幅 約62cm×奥行き 約122cm×高さ 約25.5cm 歩行ベルト寸法：幅 約33.5cm×奥行き 約70.5cm
質量	約19.8kg
電源コード長さ	約2m
材質	歩行ベルト：PVC デッキ：MDF 側面、底面カバー：PP樹脂 ハンドル：NBR スタンド：スチール
付属品	安全キー、六角レンチ(5mm)

アフターサービスについて

- 保証書(裏表紙)
保証書は所定事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
- 保証期間中に修理を依頼される場合
保証書の記載内容に従って修理いたします。
- 保証期間を過ぎて修理を依頼される場合
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 補修用性能部品の最低保有期間
当社は補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- その他ご不明な場合
修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げ販売店またはお客様ご相談センターに
お問い合わせください。

地球の環境保護のため、廃棄するときはそのまま放置しないで各自治体の取り決めにしたがってください。

お客様ご相談センターのご案内

商品の返品・返金などについては、お買い上げ販売店にお問い合わせください。

商品のお取扱い方法、修理などのご相談は

フリーダイヤル  0120-064-762

※お客様がご加入されている電話(NTT以外の一般回線、PHSおよびIP電話など)によっては、
ご利用できない場合がございます。

上記番号がご利用できない場合は下記番号にお問い合わせください。

TEL 086-722-5110

FAX 086-722-3874

岡山大東電機工業株式会社

〒709-3104 岡山県岡山市北区建部町角石谷 1503-1

【受付時間(祝日を除く月～金)9:00～17:00】
都合によりお休みさせていただくことがあります。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お客様よりお知らせいただいた氏名・住所などの個人情報は、当社商品のご相談への対応
や修理およびその確認などに利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
なお、お客様の個人情報は弊社で責任をもって管理し、第三者への開示や他の目的には使
用いたしません。

1. 保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げ販売店または、P16のお客様ご相談センターが無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、商品と本書をご持参ご提出のうえ、お買い上げの販売店または、P16のお客様ご相談センターに依頼してください。
3. ご転居の場合には事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
4. ご贈答品などで本書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼になれない場合には、P16のお客様ご相談センターへご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下などによる故障および損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (ニ) 一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷
 - (ホ) 本書の提示がない場合
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - (ト) 指定外電源(電圧・周波数)使用による損傷
6. 本書は国内においてのみ有効です。
7. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、P16のお客様ご相談センターにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくはP15をご覧ください。

製造販売元

大東電機工業株式会社

〒577-0026 大阪府東大阪市新家東町2-38